



株主通信

第60期事業のご報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

Contents

- 株主の皆さまへ……………1
- 株主還元……………2
- エクイティスプレッド拡大施策……………3
- トピックス……………4
- ESG / SDGsへの取り組み ……5
- 説明会動画、中期経営計画のご案内……………6
- 会社概要・株主メモ……………7



株主の皆様へ

一貫生産体制・技術力の強化により
中長期的により一層の収益力向上を
目指して参ります。

代表取締役社長 白鳥 誉
Shiratori Homare

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

エノモトグループは1962年の創業以来、コア技術である金型加工を中心に新技術を開発し、社会構造の変化によって激変する最先端の市場の要求に応えて参りました。

そして、経営理念である「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という精神のもと、2030年度までの長期経営ビジョンとして『金型の技術で未来を創る～より小さく より速く 最先端の技術で暮らし

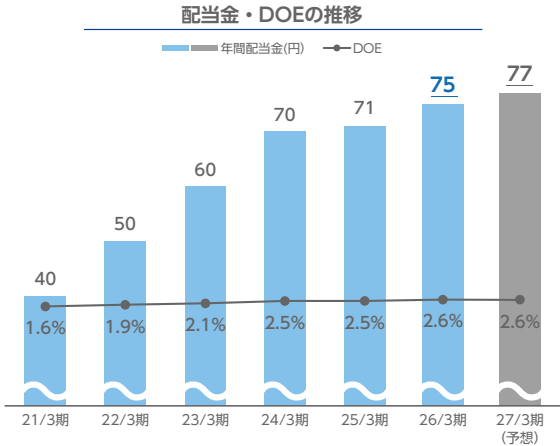
とビジネスのベストパートナーを目指す～』を策定し、これからも日本のものづくりに貢献し続ける決意を新たにしております。

長期経営ビジョンで掲げております、2030年度の営業利益目標35億円を達成できるよう、全社一丸となり、業績の向上と経営基盤の強化を目指し、なお一層努力して参る所存でございますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ・2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更、26年3月期の配当は71円の期初予想を2月に75円に増配修正
- ・2027年3月期は中期経営計画でDOE2.5%以上となる77円の配当を計画しており、当初計画通りの配当を予想

2024年3月期以降の配当方針

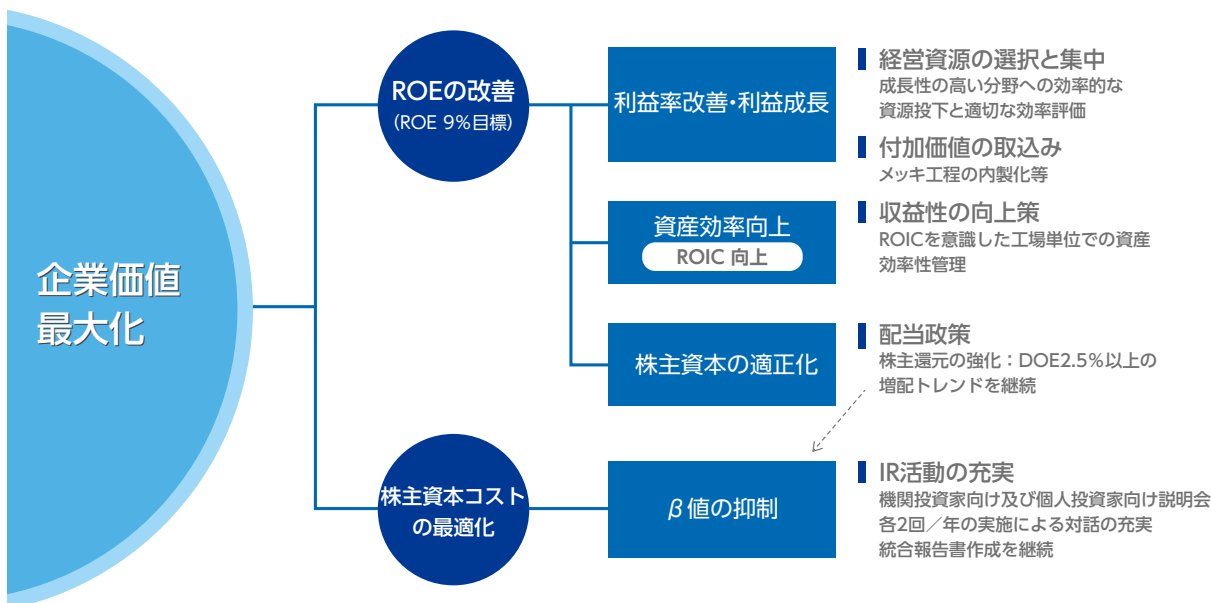
- ・DOE2.5%以上を配当の数値基準とする
- ・中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- ・2027年3月期は77円配当を予定
(DOE2.6% DOE (自己資本配当率) = 年間配当額／株主資本)



業績予想

- ・オプト用リードフレームの増収を主因に、売上高は5.2%増収、営業利益も21.2%増益を予想
- ・オプト用リードフレームはハイエンド品が順次量産開始、一方でパワー半導体用リードフレームは民生・産業機器向けが調整
- ・リードフレーム、コネクタ用部品とも、引き続きメッキや樹脂成形が必要な高付加価値製品をターゲットに拡販

単位：百万円	2025/3期		2026/3期		2027/3期		期比較
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	予想	売上比 (%)	前期比 (%)
売上高	26,880	100.0	30,415	100.0	32,000	100.0	+5.2
売上総利益	3,147	11.7	4,546	14.9	4,700	14.7	+3.4
販管費	2,528	9.4	2,896	9.5	2,700	8.4	△6.8
営業利益	618	2.3	1,650	5.4	2,000	6.3	+21.2
経常利益	669	2.5	1,766	5.8	2,000	6.3	+13.2
当期純利益	447	1.7	1,231	4.0	1,400	4.4	+13.7
1株当たり当期純利益	68.51円	－	191.21円	－	217.38円	－	－
配当金	71.0円	－	75.0円	－	77.0円	－	－



日亜化学工業株式会社との資本業務提携 ～強固なパートナーシップで「ビジョン2030」の実現へ～

当社は、中長期的な企業価値の向上と、長期経営ビジョン「ビジョン2030」の達成に向け、LED世界市場におけるリーディングカンパニーである日亜化学工業株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

日亜化学工業株式会社は、当社の主力製品のひとつである「LED用リードフレーム」の最も重要な販売先です。

当社は、今後も、日亜化学工業株式会社との取引を通じて最先端の製品トレンドに密着した「ものづくり」に携わり、世界最高水準の金型技術と生産技術にさらに磨きをかけて参ります。最先端デバイスの発展に寄与することで市場シェアを拡大し、株主の皆様のご期待にお応えする持続的な成長と企業価値の向上に邁進していく所存です。

「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」認定のお知らせ

株式会社エノモトは、従業員の健康管理を戦略的に実践する企業として「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。

当社は、従業員の健康と活力が持続的な企業価値の向上に不可欠であると考え、サステナブル経営の取り組みとして健康経営を推進しております。

今後も従業員がいきいきと働ける環境づくりを一層強化し、さらなる企業価値向上と持続的な成長に努めて参ります。



国立大学法人山梨大学とのネーミングライツ・パートナー契約締結

株式会社エノモトは、山梨大学「附属図書館1階 ラーニングcommons」のネーミングライツ（命名権）パートナーに選ばれました。

当社は、長年に亘って山梨大学と燃料電池部品に関する共同研究等を進めております。

当社は、時代の変化に対応し挑戦を恐れない「ものづくり人財」の育成を通じ、持続可能な成長と豊かな社会づくりを目指しております。本契約を機に、学生の皆様の学びの場をサポートするとともに、山梨大学との連携をより一層強化して参ります。



- ・2025年度はGHG排出量実績13,818t-co₂で通期目標14,281t-co₂以下を達成

2030年度 目標

当社グループ全体

GHG排出総量 10,676t-co₂

GHG排出削減量 6,488t-co₂ (2021年度比 38%削減)

アクションプラン

1

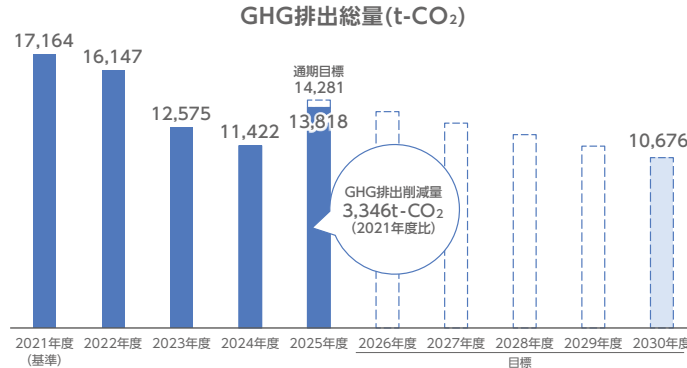
再エネ活用

- ・太陽光発電設備の設置
- ・カーボンフリー電力の購入
- ・EV車両の導入

2

省エネ対策

- | | |
|---------|----------|
| コンプレッサー | 空調設備 |
| 照明機器 | その他、生産設備 |



*2024年度に排出量算定ツールを変更した為2021年度の基準値が変更になりました。従って、2030年度目標値および2022年度以降の実績値も変更となります。

燃料電池部品実用化に向けて

- ・メインターゲットのFCV・HDV*の市場拡大は、2035年以降に後倒しの予測
- ・2035年の燃料電池システム市場規模予測は、FCV・HDV合わせて5兆5,907億円**
- ・2026年3月時において特許取得6件、出願中2件(国際2件)
- ・量産目標をクリアすることで2015年比約1/10コスト削減

1st STEP (2021~2023)

2nd STEP (2024~2026)

3rd STEP (2027~2030)

FCV・HDV向け
現行モデル

- ・顧客仕様、条件への適用開発
- ・量産ラインの稼働実験
- ・顧客開拓

- ・顧客仕様、条件への適用開発
- ・量産ライン準備
- ・顧客開拓

・2035年実用化へ

エネルギー
その他

- ・顧客開拓
- ・顧客仕様、条件への適用開発
- ・量産ライン稼働→実用化へ

・電動自転車、ドローン、
緊急電源、エネファーム等での実用化を図る

- ・改良型水素燃料電池部品の製造・研究開発・実用化による、安価かつ環境に配慮したエネルギーの普及
- ・山梨県、山梨大学等と共に、産官学連携による水素燃料電池の研究開発の推進

*HDV heavy duty vehicle

**FCV市場規模 出所:富士経済・2025年版 燃料電池関連技術・市場の将来展望



機関投資家向け説明会動画を公開！



2026年5月27日に開催した「機関投資家向け決算説明会」の資料や説明会の様子を動画でご覧いただけます。

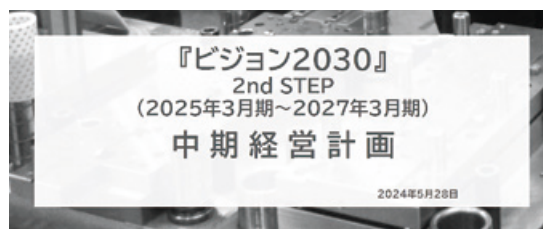
当社事業の紹介や中期経営計画についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。



中期経営計画『ビジョン2030』



中期経営計画『ビジョン2030』を公開しております。当社の持続的な成長に向けた戦略性をご理解いただけます。ぜひご一読ください。



■会社概要 (2026年3月31日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,749,333千円
従業員数	544名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役社長	白鳥 誉	上席執行役員	佐藤 裕光
常務取締役	小川 秀雄	上席執行役員	藤巻 正史
取締役	武井 勉	執行役員	馬場 一也
常勤監査等委員(社外)	橘田 和彦	執行役員	坂本 吉康
監査等委員(社外)	八巻 佐知子	執行役員	前川 茂
監査等委員(社外)	氏家 美千代		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

